



2021年12月27日

各 位

会 社 名 株式会社 アイ・テック
代 表 者 名 代表取締役社長 大畑 大輔
(コード番号 9964・JASDAQ)
問 合 せ 先 常務取締役管理本部長 伏見 好史
TEL (054) 337-2001

新市場区分の上場維持基準適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、本日スタンダード市場を選択する申請書を提出いたしました。当社は、移行基準日時点（2021年6月30日）において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の移行基準日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており流通株式比率については基準を充たしておりません。当社は、流通株式比率に関して2025年3月までに上場維持基準を充たすために各種取組を進めて参ります。

	株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式時価総額 (億円)	流通株式比率 (%)
当社の状況 (移行基準日時点)	763人	24,126単位	35.7億円	21.3%
上場維持基準	400人	2,000単位	10.0億円	25.0%
計画書に 記載の項目	—	—	—	○

※ 当社の状況（移行基準日時点）は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等（2021年3月末時点）をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

(1) 基本方針及び課題

当社は、非流通株式の保有者との株式売却に向けた協議を進めると共に、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上の実現に向けた施策に取り組んで参ります。スタンダード市場における上場維持は、当社が投資対象として十分な流動性とガバナンス水準を備えた会社であることを示すために重要であると認識しており、スタンダード市場の上場維持基準を充たさない流通株式比率については、当社株式の流動性の向上と投資家層の拡大が課題と捉えております。

(2) 取組内容

当社は、取引先及び地元企業との協力関係を強固なものにすべく、政策的に株式の持ち合い等を進めて参りました。また、当社は、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策遂行及び資本効率の向上のため自己株式を保有しております。(2021年10月末現在 3,251,526株) 上記の施策を進めた結果、流通株式比率は上場維持基準を下回っておりますので、大株主や事業法人等の所有する非流通株式の比率の縮小及び自己株式の積極的な活用または消却、並びに個人投資家向けのIR強化施策等を検討し、流通株式比率の改善を図ります。

なお、2021年10月末現在において、当社が保有しておりました自己株式の内、2,300,000株につきましては、流通株式比率の向上等の目的に2021年11月19日開催の取締役会において消却する事を決議し、2021年11月26日に消却しております。

また、その他流通株式比率の改善に寄与する事が見込まれる施策を実施・検討して参ります。具体的な時期及び施策については今後検討を進める予定であり、開示すべき事項を決定した際には速やかにお知らせいたします。

以 上